

常盤大入定 （常盤大入定） 佛教學者、文學博士。明治三二年四月八日饗城國伊真郡生れ、昭和二十五年五月五日歿（二七〇—一九五）。幼名慶丸。號榴立、榴郵。眞意大谷派僧侶。明治二十一年東京帝國大學文科大學折田學科卒。大正十五年同大教授、昭和六年東洋大學教授。佛蹟調査のたの屢次渡（屢次）支。

著書 『星月夜』（常盤榴立名、服部躬治・久保わりの共著、近角常觀編、明治三十二年四月八日大日本佛敎青年會）、『印度文明史』（昭和二十九年七月二十一日博文館「帝國百科全書」）、『佛祖と師友』（昭和九年九月）二十日大雄閣）、『儒佛と交涉大觀』（昭和十一年十一月長野・上伊那郡敎育會）、『人生の眞實』（合著・布施相治編、昭和十六年一月）二十五日宮城大陽堂書房）等。